

奈良県企業の正社員の採用動向

(第 134 回地元企業動向調査付帯調査)

【対象企業：個人事業を含む県内 162 先】

(注) 正社員とは「期間の定めの無い雇用契約」を締結した社員（非正社員を除く）。新卒採用は「各年度 4 月時点」、中途採用は「各年度中」の採用の有無を回答。

1. 正社員の採用状況

(1) 2007 年度・採用実績

新卒の「採用実績あり」は 30.9% (50 先)、従業員規模 100 人以上では 90.3% と多い。中途採用の「採用実績あり」は 52.5% (85 先) であり、業種別では製造業が 57.4%、非製造業が 44.3% となっている。従業員規模別では 100 人以上で 87.1 %、50~99 人で 76.9%、20~49 人で 60.0% と実績割合が多い（図 1）。

新卒・中途の組合せ別では、「中途のみ採用」(29.6%) が最も多く、以下「新卒・中途とも採用」「新卒・中途とも採用なし」(共に 22.8%)、「新卒のみ採用」(8.0%) と続いている（図 3）。

(2) 2008 年度・求人計画

「求人計画あり」は、新卒で 35.2 % (07 年度実績比：4.3 ポイント増)、中途で 37.7 % (同：14.8 ポイント減)。また、「中途のみあり」が減少し、「新卒のみあり」「新卒・中途ともなし」が増加している（図 2、4）。

2. 人材確保の状況【2007 年度】

新卒採用での希望する人材確保の状況は、「必要人数は採用できているが、希望水準の人材を採用できていない」(36.0%) が最も多く、以下「希望する人材を十分な人数分だけ採用できている」(28.0%)、「人数も、水準も希望を満たしていない」(16.0%)、「希望水準の人材を採用できているが、人数的には不足している」(12.0%) と続いている。中途採用でも、ほぼ同様の傾向がみられる（図 5）。

特に製造業では、新卒・中途採用とも、「希望水準の人材を採用できていない」企業が多い。

図 1 2007 年度・採用実績の有無

	対象企業数	新卒採用			中途採用		
		あり	なし	不明	あり	なし	不明
全産業	162	30.9	38.9	30.2	52.5	29.0	18.5
製造業	101	30.7	33.7	35.6	57.4	22.8	19.8
非製造業	61	31.1	47.5	21.3	44.3	39.3	16.4
従業員数	1～9人	37	5.4	54.1	40.5	16.2	43.2
	10～19人	28	10.7	50.0	39.3	28.6	46.4
	20～49人	40	20.0	45.0	35.0	60.0	22.5
	50～99人	26	34.6	34.6	30.8	76.9	19.2
	100人以上	31	90.3	6.5	3.2	87.1	12.9
							0.0

図 2 2008 年度・求人計画の有無

	対象企業数	新卒採用			中途採用		
		あり	なし	不明	あり	なし	不明
全産業	162	35.2	38.3	26.5	37.7	38.3	24.1
製造業	101	34.7	35.6	29.7	43.6	28.7	27.7
非製造業	61	36.1	42.6	21.3	27.9	54.1	18.0
従業員数	1～9人	37	10.8	48.6	40.5	16.2	45.9
	10～19人	28	14.3	50.0	35.7	32.1	50.0
	20～49人	40	22.5	45.0	32.5	37.5	35.0
	50～99人	26	50.0	34.6	15.4	50.0	30.8
	100人以上	31	87.1	9.7	3.2	58.1	29.0
							12.9

図 3 2007 年度・採用実績の有無

【新卒・中途の組合せ別】

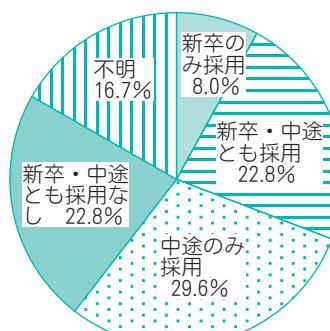


図 4 2008 年度・求人計画の有無

【新卒・中途の組合せ別】

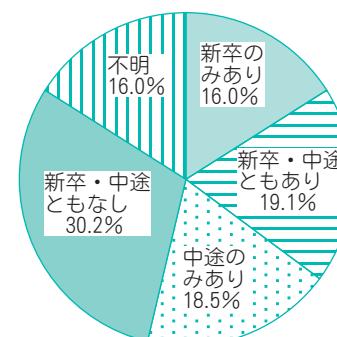
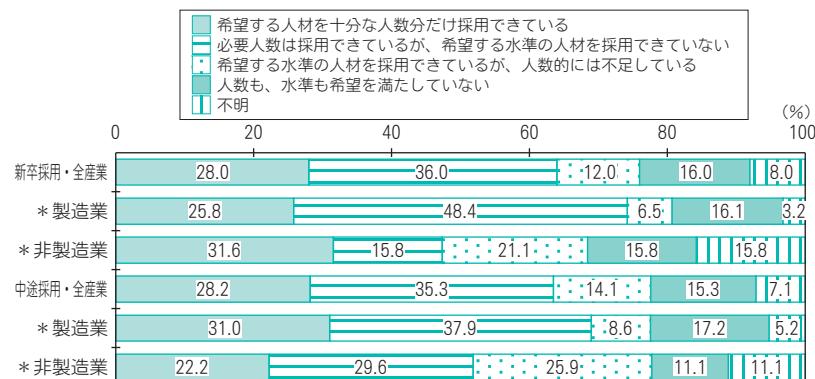


図 5 人材確保の状況【新卒採用・中途採用】

【対象：2007 年度に新卒採用実績あり 50 先、中途採用実績あり 85 先】



3. 中途採用で重視する項目（複数回答）

「熱意・意欲」(64.2%)が最も多く、以下「専門的知識・技能」(50.0%)、「行動力・実行力」(48.1%)、「健康・体力」(45.1%)と続いている（図6）。

4. 2008年度・採用計画者数の増減【2007年度実績比】

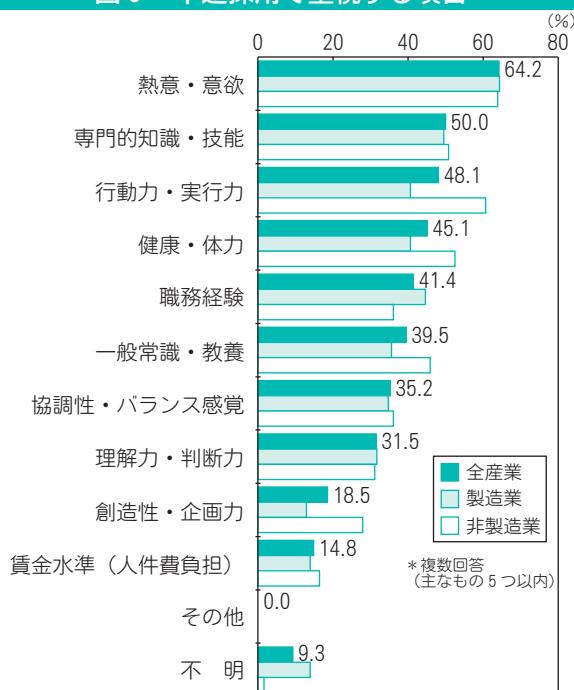
採用全体では「増加」(25.3%)、「変化なし」(44.8%)、「減少」(11.5%)となっている。特に非製造業では、「増加」が新卒採用で40.9%、中途採用で47.1%と多くなっている（図7）。

なお、07年度新卒採用実績あり50先のうち12.0%が新卒採用の求人計画がないとしている。また、同中途採用実績あり85先のうち28.5%が中途採用の求人計画がないとしている（図表不掲載）。

5. 2008年度採用計画での主な求人目的（複数回答）

「資質や年齢など人員構成の適正化を図るため」(65.5%)が最も多く、以下「欠員を補充するため」(47.1%)、「将来的な人手不足に対応するため」(42.5%)、「業績改善に向けて体制を立て直しするため」(40.2%)と続いている（図8）。

図6 中途採用で重視する項目



6. 総括

企業の発展には人材の確保・充実が不可欠であるが、約16%の県内企業が「人数も、水準も希望を満たしていない」としている。特に非製造業では、新卒・中途とも「人数的に不足している（*）」が約37%と多くなっている。人材の確保に困っている県内企業に対して、女性の就業促進のほか、高齢者の積極的活用、働きやすい職場環境づくりなどの推進に向けた支援が求められる。

*「希望水準の人材を採用できているが、人数的には不足している」+「人数も、水準も希望を満たしていない」の合計。

（島田 清彦）

図7 2008年度・採用計画者数の増減

		企業数	増加	変化なし	減少	不明
採用 全 体	全産業	87	25.3	44.8	11.5	18.4
	製造業	58	20.7	51.7	8.6	19.0
	非製造業	29	34.5	31.0	17.2	17.2
	1~9人	6	66.7	16.7	0.0	16.7
	10~19人	12	16.7	41.7	8.3	33.3
	20~49人	20	15.0	30.0	15.0	40.0
	50~99人	21	23.8	52.4	9.5	14.3
	100人以上	28	28.6	57.1	14.3	0.0
	新卒採用	57	31.6	49.1	14.0	5.3
	中途採用	35	25.7	48.6	17.1	8.6
採用種 類	全産業	22	40.9	50.0	9.1	0.0
	製造業	44	25.0	59.1	4.5	11.4
	非製造業	17	47.1	35.3	11.8	5.9

図8 2008年度採用計画における主な求人目的

